

実技試験

筆記試験に合格し、「学習塾講師基礎知識学習・筆記試験修了証」を取得した受験者は、実技試験の受験資格を有することになります。

実技試験は、協会が認定した審査員が、受験者の提出した「模擬授業映像データ」(DVD映像)を、評価チェックシートを用いて審査します。

STEP 5

・試験申込受付期間 平成30年7月12日(木)～平成30年9月18日(火) [必着]

・提出書類等

1. 実技試験受験申込書 (本サイトの〈提出書類様式ダウンロード〉から「実技試験受験申込書」を印刷して使用してください。)

2. 身分証明書の写し(写真を含む)

3. 「学習塾講師 基礎知識学習・筆記試験修了証」の写し

4. 模擬授業映像データ

(「模擬授業映像の媒体・撮影条件に関するガイドライン」参照)

5. その他協会が提出を求める書類 (本サイトの〈提出書類様式ダウンロード〉から「補足説明書」、「自己評価チェックシート」を印刷して使用してください。)

・実技受験料を次の銀行口座にお振り込みください。

三菱東京UFJ銀行 本店 普通口座 7642072

口座名 シャ)ゼンコクガクシュウジユクキョウカイ

受験料 7,700円(8,316円税込)

※振込手数料は受験者様にてご負担ください。

※一度振り込まれた受験料は一切払い戻しできません。

受験者は模擬授業映像データの作成・提出について次の〈模擬授業映像データの撮影条件および提出媒体に関するガイドライン〉に従ってください。

■模擬授業映像データの撮影条件および提出媒体に関するガイドライン

模擬授業映像データは、下記の要領で作成・提出すること。

なお、画質や音声が悪く乱れているデータは評価の対象とならない場合もあるので十分に留意すること。

<撮影場所>

- ・静かで十分に明るい場所とし、必ずしも学習塾の教室である必要はない
- ・塾生はいない状態で撮影すること
- ・黒板・ホワイトボード等の説明補助機材を用意すること

<カメラのセット方法>

- ・カメラは1台のみとする
- ・三脚等を用い、カメラを固定した状態で撮影すること
- ・この際、撮影画面の横幅は黒板・ホワイトボード等の説明補助機材より若干広く映るように、縦幅は講師の腰より上が映るようにカメラをセットすること

<授業の進め方>

- ・撮影時間は15～30分以内とすること
- ・編集および撮影の中断は不可とする
- ・撮影にあたっては、別に定める「審査手順^{*1}」をよく確認して、授業構成を行うこと
- ・塾生が教室内にいると想定すること（塾生に質問を投げかけるなどしてもよい）
- ・黒板・ホワイトボード等の説明補助機材を使用すること
- ・「評価チェックシート」に記載されているすべての項目が収まるように授業を計画すること

<提出媒体>

- ・DVD（ファイナライズを行い、他のDVDプレーヤーでも再生できることを必ず確認すること）

<留意点>

- ・協会ホームページに「学習塾講師のコンピテンシーディクショナリ^{*2}」、「評価マニュアル^{*3}」、「塾講師おひとりおひとりの能力開発と自己実現のために^{*4}」を公開するので、よく見た上で撮影することが望ましい。

*1、2及び3は、学習塾講師検定制度サイト内の[学習塾講師検定の評価基準](#)をクリックしてください。

*4は、学習塾講師検定制度サイト内の■受験に関する参考[塾講師おひとりおひとりの能力開発と自己実現のために](#)をクリックしてください。



「合否の決定と通知」の項へ

STEP 6